

2024年度第1回日本診療放射線技師連盟 理事会議事録

日時：令和6年2月26日（月）18：30～19:30

会場：Web 開催

出席者：理事長：木暮陽介

副理事長：市川重司、江田哲男、角田喜彦、中上康次、丹羽政美

理事：上田克彦、江端清和、大内幸敏、小黒清、界外忠之

木口雅夫、菊池克彦、後閑隆之、渋谷一敬、園田優、富田伸夫

中村勝、西小野昭人、野水敏行、長谷川雅一、山本英雄

監事：松原馨、田中功

陪席者：畦元将吾、芳士戸治義、白木尚

欠席者：江藤芳浩、大野肇、川守田龍、児玉直樹、後藤吉弘、佐藤晴美、新里昌一

杉澤路子、高橋俊行、富田博信、中村登紀子、中村泰彦、藤井雅代、船水憲一

茂木大志

司会進行：江田哲男

書記：谷本恵子

（敬称略）

業務報告・周知事項（報告期間：前回理事会～本日）

1. 活動報告 木暮理事長

2023年12月6日（水）第1回埼玉県診療放射線技師会 役員研修会にて挨拶

2023年12月7日（木）放射線技師議連に出席

2023年12月7日（木）東京都診療放射線技師会 理事会終了後に挨拶

2023年12月14日（木）根本匠君と語る会に出席

2024年1月12日（金）東京都診療放射線技師会 「2024年新春のつどい」に出席

2024年1月13日（土）令和6年広島県診療放射線技師会新年互礼会に出席

2024年1月31日（水）多摩診療放射線技師連合会全幹事会にて挨拶

※（公社）東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼

2. 会計報告 木暮理事長

連盟会員数は1095名（2024年2月24日時点）

2023年度の年会費納入状況は169件、寄付は21件

2024年度の年会費納入状況は22件、寄付は4件

連盟残金：622,174円（2024年2月24日時点）

- 田中監事より 2023 年度の監査報告があった。

3. 情報システム報告 角田副理事長

角田副理事長より情報システム(学会バンク)についての進捗状況報告があった。資料参照。システム出来次第報告する。

- 木暮理事長 3 月中に東京都選挙管理委員会に収支報告書を提出予定
自民党入党のご案内 835 人 (2023 年 12 月 27 日付) 目標 2000 名
日本診療放射線技師連盟ニュースを毎月掲載
令和 5 年度第 4 回理事会議事録を掲載
会員・決済管理システム導入ならびに連盟 HP との連携 作業中

4. 事務所移転進捗報告 木暮理事長

12 月 13 日に角田副理事長、JART 富田副会長、埼玉県 JIRT 田中先生、城處先生の 4 名と木暮理事長、谷本理事の計 6 名で打ち合わせを行った。4 月末までには事務局移転完了したいと考えている。移転後は郵便物の郵送先も埼玉県事務所に変更する予定である。

5. 国政報告 畦元参与

- 日本において、アクチニウムを原子炉で製造することがある程度決まった。現在ロシア、中国のみが製造している。
テクネシウムに関してはすでに製造を開始しているが、エネルギーが少ない状況
- 診療放射線技師は国会の中でも重要視されている。認知症、放射線被ばく等で注目されている。

6. 日本診療放射線技師会報告 上田理事

- 能登半島地震に対する医療支援を 1 ヶ月ほど行っている。JART 江端業務執行理事が石川県対策本部に入り、約 10 日間実際の医療支援病院の夜間勤務、土日勤務を交代で診療放射線技師会の役員と近隣の診療放射線技師会の会員がサポートした。江端業務執行理事は引き揚げていますが、今後も長期に渡り支援が必要ということで引き続き支援していきたいと思っている。
避難所の感染対策のための X 線撮影体制構築まで行ったが実際には実施には至らなかった。関係企業と災害時の医療機器提供の締結を 2020 年に結んでいたもので、これを適用し富士フィルムメディカル、コニカミノルタヘルスケアにご協力いただいた。
- 診療放射線技師会理事会にて、来年度の事業計画等を提示しているので今後の総会資料等にて確認していただきたい。

7. その他

- 木暮理事長

第 91 回自由民主党党大会にて、当連盟が特別表彰されることになった。3 月 17 日、中上副理事長が出席することになっている。

第 2 回日技連、連盟定期連絡懇話会が 5 月 29 日に開催される。私を含め数人が参加予定である。

- 中上副理事長

今後も前向きな活動をしていきたいと思っている。3 月 17 日、第 91 回自由民主党党大会に出席させてもらう。また、3 月 23 日 第 63 回自民党広島県支部連合大会が開催されるが、そちらにも出席予定である。広島県連衆議院比例区第一支部（畦元先生所属の支部）で 12 名の自由民主党代議員を選出することと、広島勢で参加を募り参加していただきたいと思う。

審議事項

1. 自民党党员入会(党費納入)について 木暮理事長

- 2022 年度、自民党党员数 1640 名（過去に登録）のうち、党员費支払い済み 770 名、未払い 870 名であった。2023 年度、自民党党员数 1782 名（過去に登録）のうち、党员費支払い済み 835 名、未払い 947 名と前年度より未払い数が増えた。

2 月 20 日付け 2024 年度党员費支払い済み 32 名、未払い 1752 名となっている。

決算は 1 月～12 月となっているが、ご存じない方もいると思われる。今一度ご周知いただきたい。

- 連盟支部長からの自民党党员増員における意見で、各都道府県の技師会長のご理解とご協力がないと厳しいとの意見があがっている。ただ、各都道府県の技師会長が連盟理事も兼任しているわけではない。

提案として、連盟理事である JART 地域理事の方、北海道、東北、北関東、南関東、中日本、近畿、中四国、九州の 8 名の方にお願ひし、それぞれ該当する都道府県連盟支部長と協力し、自民党党员の促進を行っていただきたい。

以上の提案が遂行可能かご意見、ご審議いただきたい。

- 北海道・富田理事

北海道は 1 道 1 地域である。連盟支部長は別の方がやっている。もともと連盟支部長がおらず、自分が兼任していた。北海道の技師会長として活動している中で、あるタイミングでここからは連盟支部長として話をするとしても、なかなか切り離していただけないこともあり、別の方に連盟支部長になっていただいた。ただ、連盟支部長との連携があまりとれていない部分もあると思う。北海道という広い地域の中で 1 つの党を押ししていくことの難しさがある。地域性もあると思う。また、会員の構成として、個人病院、地方では公務員の方が多い。なかなか連盟の活動をやっていただける範囲を

広げていくのが難しい。こういった現状を踏まえ、他の地域の方々にご助言いただき連盟と密に活動していければと思う。

- 江端理事

北海道以外は、複数の県で1つの地域として活動しているが、JART 地域理事の方から各都府県の連盟支部長に声をかけていただくだけでも違うと思う。

- 木暮理事長

JART 地域理事は JART の役員であるが、一方で連盟理事として、各都道府県の連盟支部長と連絡を取っていただくと、各都道府県の連盟支部長が 1 人で活動するのではなく、後ろに JART 地域理事の方々がいるということで相談でき、地域事情もご理解いただけるかと思い提案させていただいた。

- 北関東・後閑理事

お話にあったように、連盟支部長と言っても、1人で行動する機会が多い。やはり県単位での活動を促進するためにはある程度人数が必要だと思う。以前、技師会長と連盟支部長を兼務していたが、富田理事がお話されたように、技師会長の立場で連盟支部長としてと言うのは、ケースバイケースで非常に説明が辛い場面がある。そういう面では、技師会長と連盟支部長、技師会と連盟を切り離して考えないと難しい部分がある。現在は技師会長を外れたので、そういった面では各県の連名支部長に連絡を取り、なるべく多くの方にご協力いただけるようお話するのは可能だと思う。

- 南関東・大内理事

南関東は都県あるが、連盟支部長の連絡先を頂ければ、メールなど、きっかけとして始められるかと思っている。

- 九州・西小野理事

連名支部長が熊本であれば連絡先が分かるが、他県の方はわからないというのが現状で連絡を取り辛い環境であった。連絡先を教えていただければ、他県の連名支部長とも連携を密にとれるのではないかと思っている。先ほど、技師会長で連盟理事の方、連盟支部長の方という意見があったが、熊本県ではそれをすると動けないというところがあり技師会長ではなく別の方をお願いしている。それぞれの県に合った動きでやっていければいいと思う。連携自体はやはりやっていくべきと思う。

- 江田副理事長

地域促進、活性化を含めた内容でも何かご提案、ご意見等あればいただきたい。

- 中四国・木口理事

広島県は畦元先生の地元ということで、全面バックアップするというのは当然である。連盟副理事長、連盟支部長もおり、しっかり動いてくれている。技師会としても全面バックアップで働きかけている。会員からの厳しい言葉も特になく活動できている。中四国でも地域性があり、中上副理事長がしっかり活動されているが、なかなか党員数が伸びないというのが現状がある。今後、しっかり連携を取りながらやっていきたいと思う。

- 江田副理事長
木暮理事長からの提案についてご審議願いたい。

賛成多数で承認された。

議事録確定次第、JART 地域理事の 8 名の方々に各都道府県の連名支部長の情報をお渡しする。

2. 日本診療放射線技師連盟会費について 木暮理事長

連盟役員が少なく、マンパワーが足りない状況であるのでそこを活性化していきたいと思っているが、難しい状況もあるのが現状である。過去に連盟支部長の方々にホームページに掲載したいという提案をしたが、4分の1の方から同意が得られなかった。他団体連盟のホームページには各都道府県連盟支部長の事務所、担当者記載などがあるが、当連盟においてはまだ発展途上である。

今回の審議事項ではなく報告という形になるが、新会員システムが導入されれば連盟会員促進につながっていくと思っている。粛々と進めていきたい。前年度にお伝えしていた、連盟会費未納の方に会費請求する件が滞っているが、会費納入状況確認後、リストを作成し会員システムに入力するという形で対応していきたいと思っている。

- 会員システム導入提案の件、JART 地域理事、連盟支部長との連携を含め、連盟会費等についても行っていくことについて審議する。
賛成多数により承認された。

3. 畦元将吾代議士活動報告会について 中上副理事長

全国的に開催していきたいと思っている。また、JART 地域理事、各都道府県技師会役員の方々にお話しする時間を提供していただき、政治の大切さ、代議士の大切さを訴えていきたい。

- 江田副理事長
各地域、地区責任者会議というのがありそこに畦元代議士をお呼びするのも 1 つの案だと思う。ぜひご検討いただきたい。畦元代議士もお忙しいので計画的に行うことも付け加えさせていただく。

4. その他

- 角田副理事長 3月3日 埼玉県診療放射線技師会学術大会にて垂れ幕、のぼり旗、ポスターを用意し、連盟ブース設置を予定している。

今後の予定

第 2 回理事会：6 月 17 日（月）18:30～

第 3 回理事会：9 月 17 日（火）18:30～（16 日が祝日のため）

第 4 回理事会：12 月 9 日（月）18:30～

- 木暮理事長

連盟理事の方で理事会に参加できない方には事前に連絡いただいている。無断欠席ないようご理解、ご協力いただきたく思っている。引き続き、ご支援ご協力願いたい。

理事会総括 丹羽副理事長

2024 年度第 1 回日本放射線技師連盟理事会総括を述べられた。

以上